

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 10 月 11 日(2022.10.11)

【公開番号】特開 2021-176594(P2021-176594A)

【公開日】令和 3 年 11 月 11 日(2021.11.11)

【年通号数】公開・登録公報 2021-055

【出願番号】特願 2021-128428(P2021-128428)

【国際特許分類】

A 6 1 N 1/36(2006.01)

10

【F I】

A 6 1 N 1/36

【誤訳訂正書】

【提出日】令和 4 年 9 月 28 日(2022.9.28)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 4 0

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

20

【0 0 4 0】

図 7 を参照すると、図 7 は、スマート・バンド・エイド 4 1 4 として配備される T N S S である。スマート・バンド・エイドは、皮膚に接着する側に接着剤を有する基板と、図 4 で前述された S O C 4 0 0 又は電子パッケージと、真皮と接着面との間に配置される 1 以上の電極 4 0 8 と、を有する。電極は、真皮を通じて神経及び他の組織に電気刺激を提供し、次に、筋肉活動のような身体の機能についてのデータを提供するためにそれらが収縮するとき（筋電図）に、筋肉により生じる電気信号のような身体からの電気信号を収集する。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

30

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

局所神経刺激パッチであって、

フレキシブル基板と、

皮膚に接着する側に接着剤を有する接着面を含む、前記フレキシブル基板の真皮順応底面と、

前記真皮順応底面に略平行な前記フレキシブル基板のフレキシブルな上部外面と、

40

前記フレキシブル基板に直接接し、真皮を通じて神経及び他の組織に電気刺激を提供するように構成された一つ以上の電極と、

前記フレキシブル基板に直接接する制御ユニットと、

前記フレキシブル基板に直接接し、前記一つ以上の電極を電氣的に活性化するように構成された刺激器と、

前記フレキシブル基板に直接接し、神経刺激に対する反応を測定するように構成されるセンサと、

前記フレキシブル基板に直接接し、リモート活性化装置と通信するように構成され、ユーザが遠隔地で前記刺激器を活性化できるようにするアンテナと、

前記フレキシブル基板に直接接し、前記制御ユニットおよび前記刺激器の電気通信にお

50

ける電源と、
を備え、

前記刺激器は、前記アンテナによる通信の受信に応じて活性化し、一つ以上の電気刺激を生成するように構成され、
前記制御ユニット、前記刺激器および前記センサはシステムオンチップによって実装されており、

前記一つ以上の電気刺激は、神経刺激として、前記局所神経刺激パッチ付近の少なくとも一つの位置で当該局所神経刺激パッチを着用しているユーザの１つ以上の神経を刺激するように構成される、
局所神経刺激パッチ。

10

【請求項２】

前記局所神経刺激パッチが真皮の曲がった部分にフレキシブルに結合されるとき、前記上部外面は、前記真皮順応底面と略平行な関係を維持するように構成される、前記請求項１に記載の局所神経刺激パッチ。

【請求項３】

前記刺激器は、刺激のパターンを生成し、検出および分析し、前記反応に基づいて、該パターンを変えるように構成される、請求項１または２に記載の局所神経刺激パッチ。

【請求項４】

前記パターンの生成については最初に、刺激前の検出と分析から始められる、請求項３に記載の局所神経刺激パッチ。

20

【請求項５】

前記一つ以上の電極は複数の同心電極として準備され、該電極での前記電源からの電力量を変化させると、刺激の組織の深さが変化する、請求項１に記載の局所神経刺激パッチ。

【請求項６】

当該局所神経刺激パッチは、パッチの形式を含む請求項１に記載の局所神経刺激パッチ。

【請求項７】

前記一つ以上の電極は、接着性の導電性パッドを含む、請求項１に記載の局所神経刺激パッチ。

30

【請求項８】

前記アンテナはさらに、クラウドを含むリモートストレージデバイスと通信するように構成され、前記制御ユニットは、前記アンテナを介して前記クラウドへの前記局所神経刺激パッチの動作に関するデータを送受信する、請求項１に記載の局所神経刺激パッチ。

40

50